

ネイチャー・ウォーク

平成 27 年 1 月号

2015. 1. 18 発行

(通巻第 253 号)

ECO  SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

：部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

冬の貝がら拾い 2

彩の国を離れ、異彩を放つかい？

(京浜急行線 新逗子駅～葉山しおさい公園)



ネイチャーナインが円陣を組みます

2014 年最後のネイチャーは、海のない埼玉県から飛び出して、海のある神奈川県に遠征です。

少数精鋭の 9 名が参加しての Walk となりました。

ズシッと重いくらいの貝殻を拾おうと、意気が上がります。



きつい山を登ります。ただし標高は？



山を登るとそこは海でした

標高 23 メートルの旗立山のきつい坂道を上るとそこは海でした。なお、この旗立山、元は鎌倉時代、源頼朝に仕えた三浦氏のお城だったそうです。



砂浜にて貝がら拾い。いっぱい獲れた？



空には大量のトビたちが飛んでいました

海岸に降りて、貝がらさがし。サザエやカキなど、非常に多くの貝がらが見つかりました。

海岸上空では、強風の中、大量のトビたちが、ピーヒョロロと鳴きつつ、空を舞っていました。中には、糞の爆撃をするトビもいたりなんかして。



見つかった海の生きものたち。大量です

海岸を歩いたあとは、森戸神社で、どんな生きものが見つかったのか確認。貝がらの種類は、巻貝が19種類、タカラガイが5種類、二枚貝が6種類など大漁でした。



見つかった中にはウニなども



事務局の M による貝がら解説

見つかった生きものについて、事務局の M と A より解説が行われました。
中にはウニなんかもありました。すでに死んでいるので、食べられなくてちょっと残念？
見つかった中には「リュウグウノオトヒメノモトユイノキリハズシ」なんてすごい名前の植物もありました。植物の名前で最も長いということで驚きの声が上がっていました。



「リュウグウノオトヒメノモトユイノキリハズシ」の姿

もっとも、その別名が「アマモ」と知れると、「な〜んだ」とちょっとがっかりした声も。正式名称も「アマモ」だそうです。

21 文字の名前なんて、覚えきれないので、しょうがないですね。

昼食後の砂浜でも、クチベニガイなど、きれいな貝がらを見つけることができました



きれいな貝がらを新たに発見



しらす屋さんの前にできる行列

昼食後は、海のお土産を買うために、しらす屋さんの前で行列を作ったりもしました。
ともあれ、これにて2014年は終了。2015年もネイチャーをよろしくお願いします。